

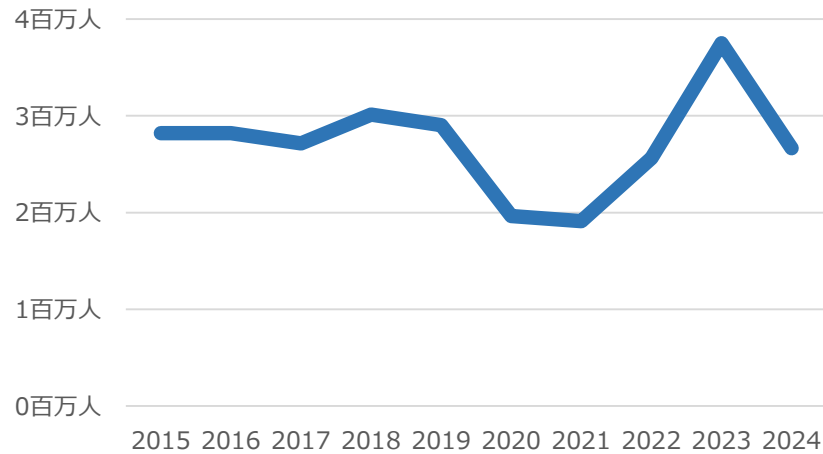
高知県の観光施策のポイント

2025年7月

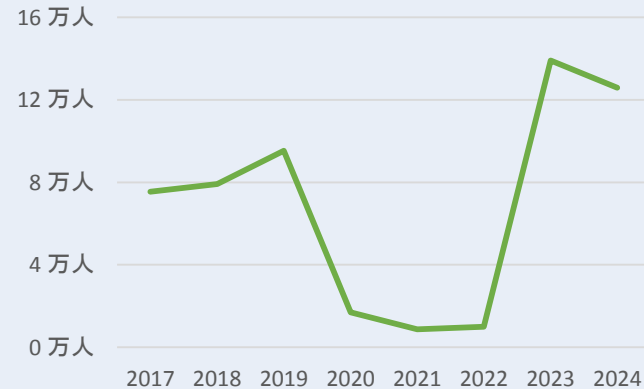
1. 高知県の観光業の現状

- 2024年の高知県の延べ宿泊者数は**約266万人泊**でした(速報値)。NHK連続テレビ小説『らんまん』による集客効果があった前年の約375万人泊から、大きく減少しています。ただ今年は同『あんぱん』が放送されており、観光客が再び増加することも期待されています。
- 2023年には観光客一人当たりの消費額も微増しました。

■ 高知県の延べ宿泊者数の推移



外国人の延べ宿泊者数



2024年には外国人の宿泊者数も前年を下回っていますが、コロナ前よりは高い水準を維持しています

■ 県外観光客一人当たり平均消費額

2021年	2022年	2023年
26,202円	26,076円	27,639円

(出典) 高知県「令和5年 県外観光客入込・動態調査報告書」

(出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査(2023年・年間値(確定値))」、「宿泊旅行統計調査(2024年・年間値(速報値))」
高知県「平成27年 産業連関表-高知県経済の構造-」 ※4月16日付けピックアップレポート「高知県の経済」参照

2. 高知県の観光キャンペーン「どっぶり高知旅」

- 県は「どっぶり高知旅」キャンペーンを展開中です。観光者の志向が「モノ消費」から「コト消費」、そして「トキ消費※」と移るなかで、**ディープな高知**を体験してもらい、観光消費額の増大につなげていくのが狙いです。 ※トキ消費：博報堂生活総合研究所が提唱した、その時・その場でしか味わえない盛り上がりを楽しむ消費のこと
- 2025年8月6日～19日に大丸東京店で開催される『高知県活性化プロジェクト「どっぶり高知旅 in 大丸東京店」』に、四国銀行も協賛します。地元の金融機関として、当行も観光業の振興に取り組んでいきます。

どっぶりど級の
極上田舎へ



どっぶり高知旅
SUPER LOCAL KOCHI

どっぶり高知旅キャンペーン

- ◆ 「極上の田舎、高知」がコンセプト
- ◆ 日常を忘れ、高知ならではの魅力をじっくりと、深く、たっぷりと味わっていただき、心からの息抜きや新しい発見・気づきにつなげて、強力な高知のファンになっていただく取り組み

(出典) 高知県「どっぶり高知旅キャンペーン公式ガイドブック」



大丸東京店でのイベントに協賛します

3. より長期の滞在をしてもらうために

- 県としても**中山間地域**での滞在日数を伸ばすなどして、さらに**長期滞在**をしてもらえるような取り組みを推進していく方針です。
- 住民とふれあい、暮らしに触れることができる観光商品や、集落活動センターを拠点とした宿泊や食の提供ができる商品の造成に注力することが、高知県産業振興計画にも明記されています。

(出典) 高知県「第5期 高知県産業振興計画」

■ 県外観光客の平均旅行日数

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
2.1日	2.0日	2.1日	2.1日	2.1日

(出典) 高知県「令和5年 県外観光客入込・動態調査報告書」

【事例】

■ 土佐町石原地区での竹食器づくり体験

地元の竹林で取れた竹で食器を作る。その後は地元の人々と皿鉢料理を囲んで“おきゃく”を行う。もちろん竹の食器も使って。

(出典)

- [どっぶり高知旅ガイドブックVol.3](#)
- [\(一社\) 土佐れいほく観光協議会](#)



4. 新たな取り組みに対する補助金など

- **周遊促進に向けた補助金**なども作られています。
- 滞在施設までの移動手段や食料品の購入場所が準備されているかなど、行政が交通・生活インフラの整備をどの程度行うかもこの計画の成否に関わってきます。事業者としては、そういった計画も踏まえて取り組み内容を検討することが大切です。

関連する主な補助金 ※最新の情報を関連機関でご確認ください

名称	公募期間	補助率・補助限度額	対象経費（例）
周遊促進・滞在延長支援事業費補助金	R7.4.1～ R8.5.31	新規は1/2以内（継続事業は1/3）・ 1事業あたり 10～200万円	周遊ルートや体験プラン等を新たに造成するために招聘するアドバイザーや専門家等への謝金や期間限定の雇用に係る経費 等
観光振興推進総合支援事業費補助金	R7.4.1～ R8.5.31	事業内容による。 例）観光資源磨き上げ事業 1/2以内・ 1事業あたり5,000万円	既存の観光資源の磨き上げ、新たな観光資源の創出等観光客の増加と周遊を図る取組に係る経費 等

その他の課題

- 交通インフラの整備
- トイレ・Wi-Fi設備などの整備
- 観光ガイドの育成 等